

(注：現時点における情報提供であり、今後変更がありえる)

平成29年2月
北陸農政局生産振興課

〇〇地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン（案）

記入上の留意事項

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ WCS用稲

エ 加工用米

オ 備蓄米

(3) 麦、大豆、飼料作物

(4) そば、なたね

(5) 野菜

(6) 不作付地の解消

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 28 年度の作付面積 (ha)	平成 29 年度の作付予定面積 (ha)	平成〇〇年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	平成 28 年度の作付面積 を記入		平成 30 年度以降 (任意) の目標作付面積を記入
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦			
大豆			
飼料作物	新たな振興計画の策定等 による 28 年ビジョンか らの変更は可能		平成 29 年度の目標値を 記入
そば			
なたね			
その他地域振興作物			
野菜			
・			
・			
・			

4 平成 29 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 28 年度 (現状値)	平成 29 年度 (目標値)
		新たに用途を設定 (既存の用途を 変更) することにより 28 年ビジ ョンからの変更は可能			分類ア: 維持又は拡大 分類イ、ウ: 拡大 (改善)	
					()	()
					()	()

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※平成 30 年度以降の目標値を設定している場合は、「平成 29 年度 (目標値)」欄の右に欄を設け、目標年度及び目標値を記載してください。

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

産地交付金の活用方法の明細(案)

1. 地域農業再生協議会名

記入上の留意事項
及び記入例

2. 活用予定額の総括表

協議会等名	配分枠 (A+B+C)				活用予定額 (a+b+c)			(単位:円)
	1回目の配分 (D=E+F+G)		2回目の配分 (E=H+I)		産地戦略枠 (a)	従来枠 (b)	追加配分枠 (c)	
	産地戦略枠 (D)	従来枠 (E)	産地戦略枠 (H)	従来枠 (I)				
〇〇協議会								

産地戦略枠についても2回目の配分あり

当初配分時は空欄とする。

産地戦略枠から従来枠への流用はできません。
「A>a」の場合「B<b」は不可

(注)2回目の配分、追加配分枠が未定の段階にあっては、該当箇所を空欄により作成することとします。

4. 2回目の配分を受けた場合の調整方法

(記入例)

整理番号〇→〇→〇→〇の順に調整を行う。
単価の上限は各個票に記載のとおりとする。

個票の記入例	
整理番号〇 【単価】 1回目 8,000円/10a 2回目 円/10a	【参考となる単価】 10,000円/10a
【備考】 単価の上限は10,000円/10aとする。	

5. 主食用米作付面積が生産数量目標の面積換算値を下回った面積に相当する追加配分を受けた場合の調整方法

(記入例)

〇〇〇の取組を推進するため、整理番号〇に充てる。単価は〇〇円/10aを上限に計画面積と配分額に応じて決定する。

6. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

(記入例)

以下の単価調整係数を用いて交付単価を一律減額調整(小数点以下切り捨て)することとする。
「単価調整係数(少数第5位以下切り捨て)＝配分額(戦略枠＋従来枠＋追加配分枠)／(整理番号〇～〇の所要額)」
ただし、減額調整後の産地戦略枠の実績額が産地戦略枠の配分額を下回る場合は、「産地戦略枠」、「従来枠＋追加配分枠」のそれぞれ別の範囲内で単価調整係数を用いた減額調整を行う。

新規		前年度継続(変更あり)		前年度継続		助成開始年度
----	--	-------------	--	-------	--	--------

産地

前年度の変更承認後の内容・単価（計画）と比較し記入

協議会名						
活用枠※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠	<input type="checkbox"/> 従来枠	<input type="checkbox"/> 追加配分枠	左記、「新規」又は「変更あり」に○が付いた場合は「29年度」と記入		
用途						
対象作物	二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と別に個票を作成し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入					
単価				参考となる単価※3		
内容	参考となる単価に対して増額する場合（新規の用途設定による場合を含む）は、増額が必要となる考え方、算定過程を備考欄等に記入			前年度又は前々年度の変更承認後の単価（計画）を記入		
具体的要件						
確認方法						
備考						

※1 「活用枠」欄は該当する項目の□に✓（チェック）を付けてください。

※2 「分類」は、産地戦略枠を活用する場合、実施要綱別紙16の2（5）のA、イ、ウのいずれに該当するか□に✓（チェック）を付けてください。

※3 「参考となる単価」は、単価を設定する上で参考とした前年度単価又は前々年度単価のいずれかを記載してください。